

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立臼杵小学校

⑥ 習熟の程度に応じた指導(評価を含む)

取組の具体①

○習熟別少人数指導

- ・こつこつコース（基礎を丁寧にやる）とじっくりコース（多様な考えに触れる）に分かれて授業を行う。少人数指導を十分に活かし、個に応じた指導や支援も行う。
- ※算数専科（臼杵市加配教員）と学級担任で分かれて授業を行う。

○教科担任制推進教員(理科)

- ・教科担任制推進教員（理科）による専門的指導と指導方法の工夫改善。
- ・人材育成の視点から、若手教員（担任）が授業観察を行い、ベテラン教員（教科担任制推進教員）の指導ノウハウを学ぶことで自身の授業改善を図る。



取組の具体②

○新大分スタンダードを意識した授業改善

- ・学習の見通しをもたせるための「めあて」の設定と学びの成果を実感できる「ふり返し」を毎時間行う。
- ・前時との違いと追及すべき事柄を明らかにした「課題」設定と、その「まとめ」を行う。
- ・生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業実践。
- ・電子黒板や1人1台端末の効果的な活用。

○校内研修を核とした授業改善

- ・校内研修にて、新大分スタンダードに則った授業展開などを共通理解する。また、「めあて」「課題」などの板書プレートを作成・活用した。
- ・研究授業および互見授業の計画的な実施（Thank you チェックシートを使った略案を作成）により、授業展開や個に応じた指導の方法などについて学び合うことで、自身の授業改善や人材育成につなげる。



臼杵市 Thank you チェックシート

6月24日(火) 公開	5年1組	授業名	木村 匠・村本 るみ子
教科・領域	算数	単元名 図形	白線と三角形、四角形 本時(13/14)
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・面積の求め方が理解でき、異なる図形の面積を算出することができる。また、三角形の辺の長さの条件が「2」個以上あることや四角形や多角形の対角線は三角形に分けられることを理解している。(知識・技能) ・図形を構成する要素および図形の関係に着目し、構造的に考察し、図形の性質を判別し、その性質を応用して問題を解決しようとしている。(思考・判断・問題解決) ・図形の辺長および角の大きさの条件について、図形に適用・拡張したときの問い、適切な結果を導き出すことができる。図形と長さ・角度の条件の関係を理解し、図形の問題を解決しようとしている。(生活・学習態度) 		
本時のねらい	島のまわりのある線分で指定したときの角の求め方について、過半数から三角形の辺長として長さ、三角形の角の大きさの条件を適用して問題を解決しようとしている。		
評価課題	島のまわりのある線形図形の角の求め方を説明している。(言葉・判断・説明)		
本時の振り返り	◎「島のまわりのある線形図形の角の求め方」を説明する「問題解決的な展開」を振り返り、授業の振り返りシートに記入する。		
授業の振り返り	1. 「めあて」を確認して、「課題」をつくり、解決の見通しをもつ。 ◎学校の授業改善を提示し、本時のめあてと学習課題をつかませる。また、三角形と関連づけられることを伝え、解決の見通しをもたせる。 「めあて」達成の三角形の角の求め方が理解できるようにする。 「課題」とどかない場所の三角形の角の求め方をどうすればよいか。 2. 自力解決をする。 ◎1人1人三角形の角の求め方をめぐる。説明をさせる。(図や式、言葉) ◎2. 求めることが困難な手には、三角形の内角の和が180度であることがわかる図を提示し、思考できるようにする。 ◎3. 説明する言葉を書くことが困難な手には、穴埋め形式のワークシートを提示し、説明ができるようにする。 ◎4. 三角形の角の求め方を説明するときに、不足する言葉はなにか確認し合うためのペア交流をさせる。 ◎5. 条件交換し、本時のめあてを達成して振り返る。 ◎6. 三角形の3つの角の大きさの和が180度であることを使って、わかっていない2つの角の大きさを求めていく。 ◎7. 説明(例) 島のまわりの三角形の角の求め方、式や言葉を使って説明することができました。 ◎8. さんの説明は、口頭言葉を使っていたので分かりやすかったです。		